

# CADCity Ver.11.50 機能アップマニュアル

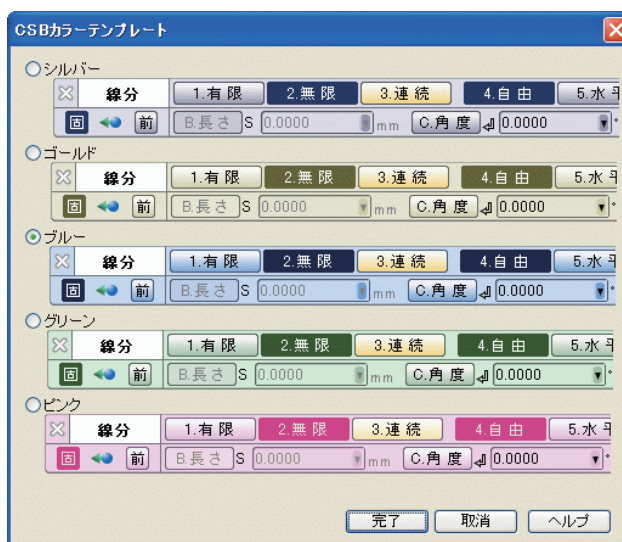
## 1 - 1

## CSB、右パネル、アイコンツールバー、ダイアログボックス

従来の機能をそのままに、見た目を一新し、よりカラフルに変更しました。

## 【CSB】

カラーテンプレートを用意し、好みの色にワンタッチで変更可能になりました。個別色設定と、その保存/呼出が可能です。旧モードへの切り替えはできません。



## 【右パネル】

カラーテンプレートを用意し、好みの色にワンタッチで変更可能になりました。一括での色変更が可能です。旧モードへの切り替えはできません。



【アイコンツールバー】

カラーテンプレートを用意し、好みの色にワンタッチで変更可能になりました。一括での色変更が可能です。「システム設定 / 表示」にて新旧モードの切り替えが可能です。



【ダイアログボックス】

XP 風のデザインに変更しました。旧モードへの切り替えはできません。



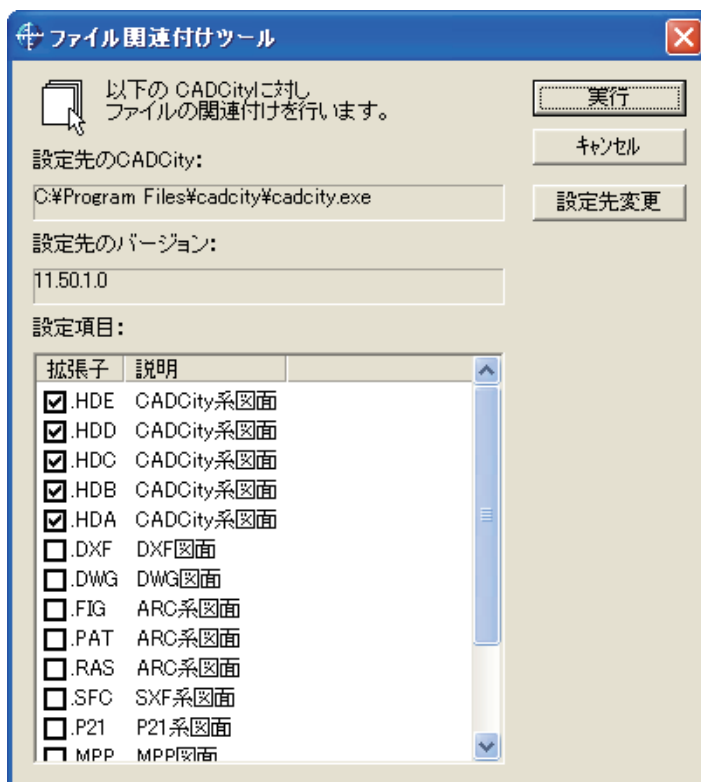
## 1 - 2

## 外部ファイル

DXF/DWG、JW-CAD 等のファイルをエクスプローラからダブルクリックで CADCity が起動し開けるようになりました。

この機能を使用するためには、事前に本システムの実行エグゼ (CADCity.exe) と、開く外部ファイルとの関連付けが必要条件となります。Windows のエクスプローラで関連付けすることも可能ですが、本システムでは容易に関連付けができるように、専用ツールを用意しています。

プルダウンメニューの [ヘルプ>ファイル関連付け] からワンタッチで指定できます。



## 1 - 3

## 枠選択

枠選択スタイルの種類が拡張されました。要素条件選択欄に「円中心線・十字」「注釈」「バルーン」「埋め込み部品」「隠線パーツ」「塗り潰し図形」の6つのタイプが新たに追加されています。

[15. 円中心線・十字] は、グループになっていない円で作図した中心線と十字コマンドです。

[16. 注釈] は、[ 作図 / 文字記入 / 注釈 ] の注釈です。

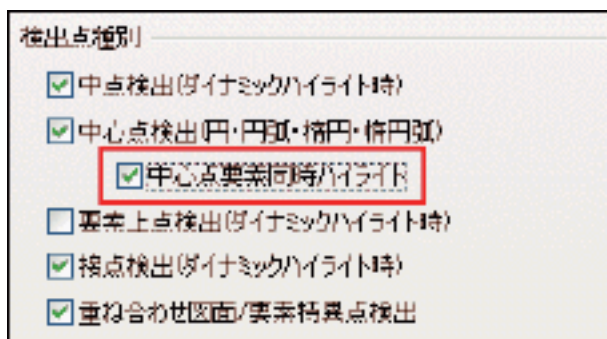


## 1 - 4

## ダイナミックハイライト

円の中心点が認識されると、同時に円もハイライト表示される機能が追加されました。「中心点要素同時ハイライト」にチェックを入れると機能がオンになります。

[ システム設定 / 検出 / 検出点種別 ]



## 1 - 5

## 仮想四分点

検出ツールバーに仮想四分点検出を追加しました。

検出ツールバーに仮想四分点検出を追加しました。仮想四分点検出とは、円弧の延長上にある四分点を検出する新機能です。仮想四分点を検出したい円弧を選択すると右側の四分点が検出され、小さな「○」で表示されます。

[ Y/N ] 選択ボックスが表示されますので、Yキーで確定するとその位置に点を指定します。Nキーを押すと反時計回りに他の仮想検出点を表示します。



## 2-1

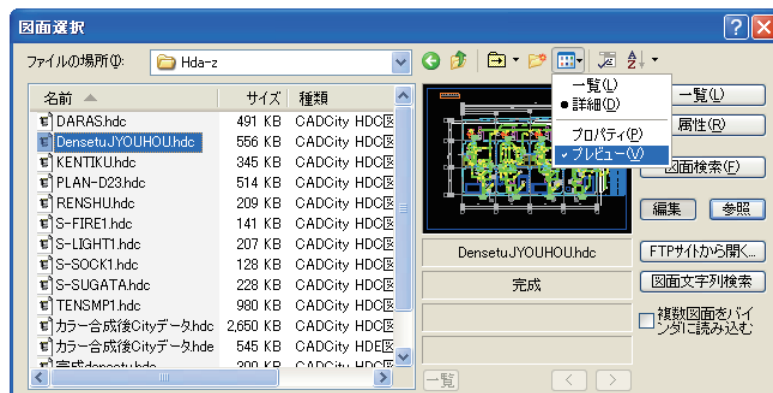
## 開く

開くコマンドに機能を追加しました。

[ ファイル / 開く ]

参照部品が貼り付けてあるデータを開く時、参照先のパスにデータが無い際に読み飛ばす機能を追加しました。

詳細表示モードでプレビューの使用が可能になりました。



## 2-2

## 最近開いたファイル

一番新しく開かれたファイルと保存先が異なるファイルは、その保存先のパスが一覧に表示されるようになりました。

[ ファイル / 最近開いた図面・部品・複図 ]

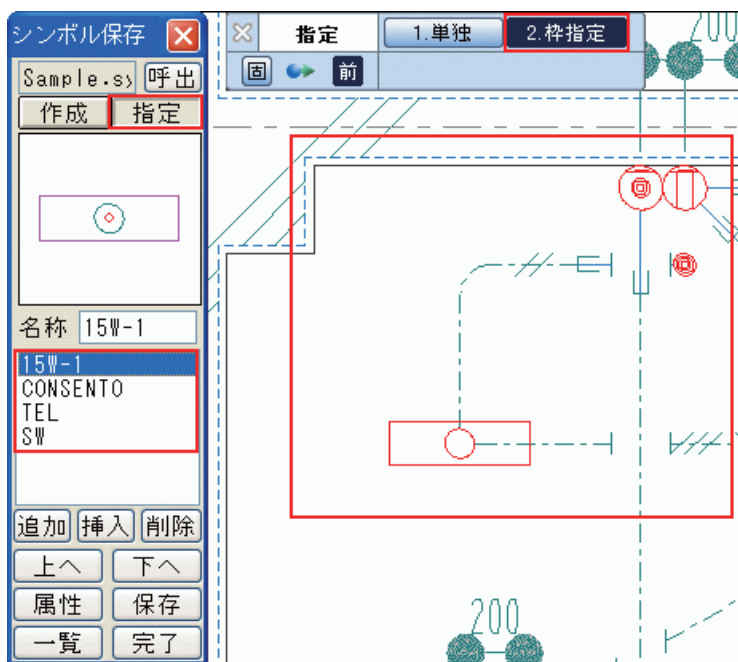
## 2-3

## シンボル保存

シンボル保存ダイアログの「指定」モード時にCSBが表示され、複数のシンボルを一括保存できるようにしました。

[ファイル/シンボル保存]

CSBの[2. 枠指定] ボタンをオンにすると、既存のシンボルを枠指定にて複数選択し一括で保存することができます。[1. 単独] の場合は従来通りです。





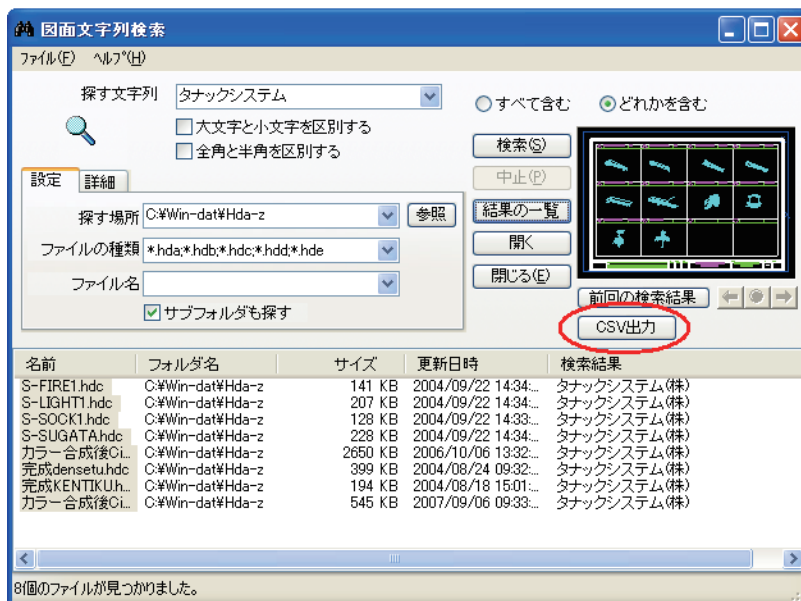
## 2 - 4

## 図面文字列検索

文字列検索の結果（図面パス）を CSV ファイルに保存できるよう変更しました。

[ ファイル / 図面文字列検索 ]

検索終了後、「CSV 出力」をクリックすると保存できます。



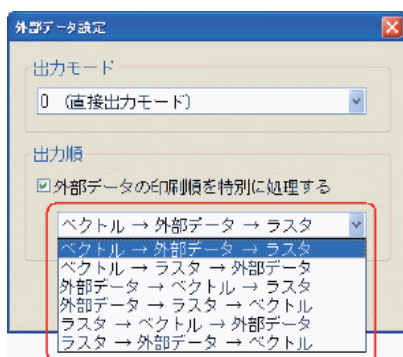
2-5

出図

出図コマンドに機能を追加しました。

- ・「ベクトル→ラスタ→外部データ」のように、外部データの順番を指定して出図できるよう変更しました。

[ ファイル / 出図 / 環境設定 / 外部データ / 設定 ]



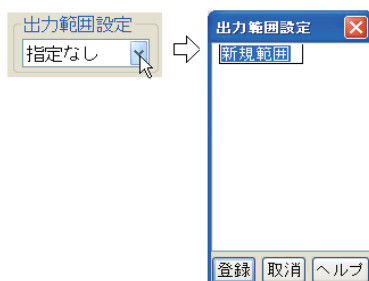
- ・「変更」をクリックすると開く出図環境選択ダイアログボックスに「複製」ボタンが追加されました。既存の設定をコピーすることができます。

[ ファイル / 出図 / 変更 ]



- ・設定した出力範囲を保存し、任意に呼び出せるようになりました。出力範囲設定コンボボックス「▼」を右クリックすると出力範囲を設定保存することができます。

[ ファイル / 出図 / 出力範囲設定 ]



## 2 - 6

## 出図 / 連続出力

印刷ドキュメント名を「表題」「ファイル名」で切り替えられるようにし、Adobe PDFWriter等のプリンタドライバで利用できるよう変更しました。

[ ファイル / 出図・連続出力 ]



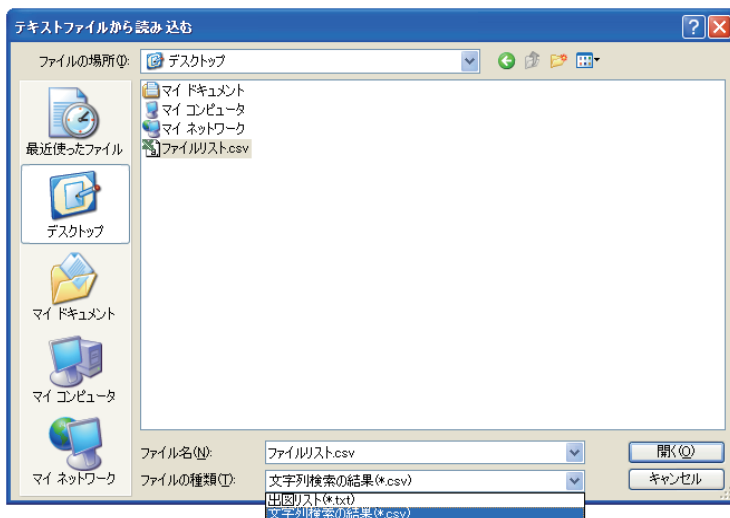
## 2-7

## 連続出力

連続出力に機能を追加しました。

[ ファイル / 連続出力 ]

ファイルのパスを書き記しリスト化したテキストファイル、あるいは文字列検索で出力した CSV ファイルに記述された図面ファイルを読み込み、連続出力する機能を追加しました。連続出力ダイアログボックスの左にある「リストを読み込」から行います。



## 2 - 8

## DXF/DWG 入力

文字要素のフォント名に、本システムにはない [Simplex] といった AutoCAD 固有のフォント名が表示されないように修正しました。

[ ファイル / 外部入力 / DXF・DWG 入力 ]

文字要素のフォント名に、本システムにはない [Simplex] といった AutoCAD 固有のフォント名が表示されないように修正しました。これらのフォントは、代替フォントの設定に従ったフォント名とします。設定は変換条件設定ダイアログボックス全般タブ「本システムにはないフォントの代替フォント」で行います。

本システムにはないフォントの代替フォント DA ゴシック ▼

## 2 - 9

## MCAD 入力

寸法公差が CADCity にある公差形状の場合、読み込み時に公差属性を付加して公差変更出来るようになりました。

[ ファイル / 外部入力 / MCAD 入力 ]

## 2-10

## DXF/DWG 出力

DXF/DWG 出力に機能を追加しました。

[ ファイル / 外部出力 / DXF・DWG 出力 ]

- ・変換条件設定ダイアログボックスのレイヤータブに「保存テーブルを優先」チェックボックスを追加しました。チェックボックスをオンにするとダイアログ図面ファイルのレイヤー情報に関わらず、常に設定テーブルのレイヤー名で出力できるようになります。

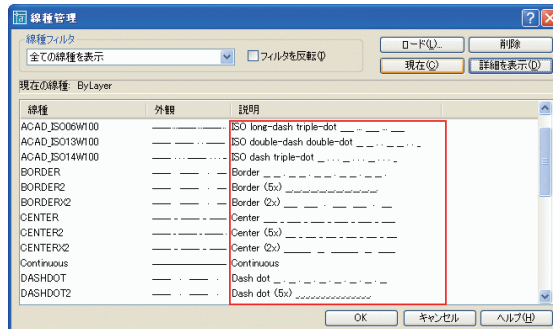


- ・ユーザー設定色（CADCity 色 16～）に AutoCAD の色番号を指定できるようになりました。「ユーザー設定色を自動変換する」をオフにすると、色設定がスクロール可能になり、ユーザー設定色の DXF/DWG 色番号が入力できます。

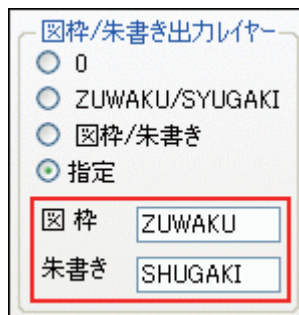


- CADCityでDXF/DWG出力を行った際、線種属性がAutoCADの標準線種パターンよりロードされたDXF/DWGデータに比べてピッチが異なる場合に、ほぼ同一の線種ピッチで出力されるよう修正しました。この修正により、AutoCADの線種管理画面（コマンド名：LINETYPE）で表示される「外観」プレビューがAutoCAD標準線種パターンとほぼ同一になります。

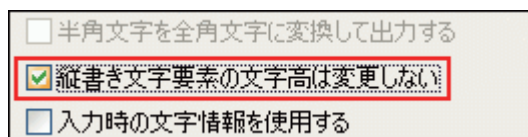
また、独自の線種名も改め、AutoCADと同様に線種名と実際の線タイプを出力するようになりました。



- 変換条件設定にて、図枠 / 朱書きレイヤーを任意の名称で出力可能になりました。



- 変換条件設定ダイアログボックスに「縦書き文字要素の文字高は変更しない」チェックボックスを追加しました。オンにすると、変換時に文字高さを固定します。



## 2-11

## JW\_CAD 出力

線端形状が矢印・黒丸以外の場合は、線端分解して出力されるようになりました。

[ファイル / 外部出力 / JW-CAD 出力]

線端形状が矢印・黒丸以外の場合は、線端分解して出力されるようになりました。これまでは線端なしで出力されていましたが、これにより線端も出力されるようになります。



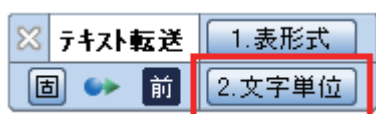
## 3 - 1

## テキスト転送

コマンドを起動すると CSB が表示されるようになり、新モード [2. 文字単位] が追加されました。

[ 編集 / 複写 / テキスト転送 ]

コマンドを起動すると CSB が表示されるようになり、新モード [2. 文字単位] が追加されました。同じ Y 軸上に文字列があっても 同一行として認識せず、全て文字列単位で改行しテキスト転送します。 [1. 表形式] をオンにすると、従来のテキスト転送コマンドになります。



## 3 - 2

## 切取消去

選択 CSB を「枠内、枠上」 / 「枠上、枠外」の二者択一にし、枠上・枠外の要素を消去できるように変更しました。

[ 編集 / 消去 / 切取消去 ]



## 3 - 3

## 重複線消去

要素が多い場合に処理が途中で遅くなるのを改善しました。

[編集 / 消去 / 重複線消去]

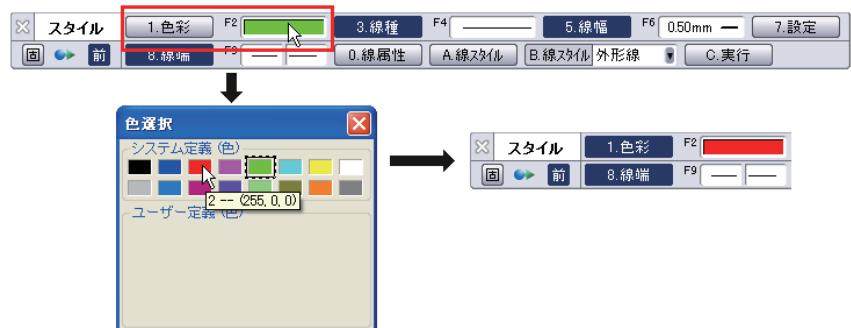
## 3 - 4

## 線円スタイル 1

CSB を新スタイルに変更しました。

[編集 / スタイル / 線円スタイル 1]

プルボックスを左クリックし、DLB から各スタイルを選択すると、各スタイルのボタンが ON になるよう変更しました。

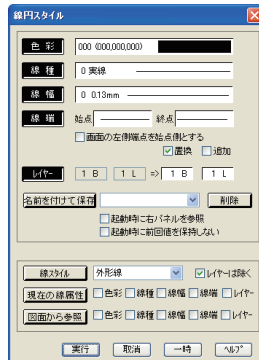


## 3-5

## 線円スタイル2

線円スタイル2ダイアログボックスのボタンのON時の色を見やすいデザインに変更しました。

[編集 / スタイル / 線円スタイル2]



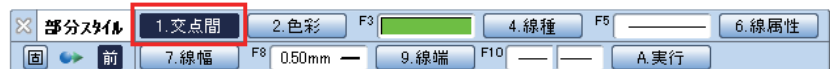
## 3-6

## 部分スタイル

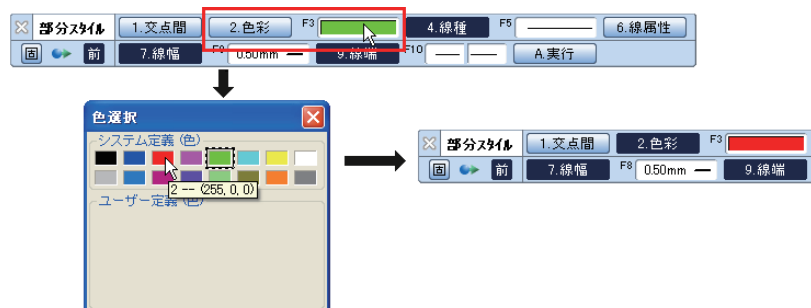
CSB [1. 交点間] ボタンを追加し、CSB を新スタイルに変更しました。

[編集 / スタイル / 部分スタイル]

- CSB [1. 交点間] ボタンを追加し、「交点間消去」コマンドのように、指定した要素を他要素と交わる交点間でスタイル変更します。



- プルボックスを左クリックし、DLB から各スタイルを選択すると、各スタイルのボタンが ON になるよう変更しました。



4 - 1

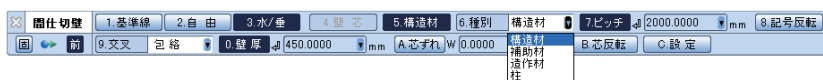
間仕切壁

間仕切壁と構造材を同時に作図する機能を追加しました。

[ 建築 / 壁 / 間仕切壁 ]

「3. 水 / 垂」と「5. 構造材」がONの時、「6. 種別」「7. ピッチ」「8. 記号反転」のボタンが有効になります。

間仕切壁を作図する際に「6. 種別」で選択した構造材を「7. ピッチ」で指定した間隔で同時に作図します。

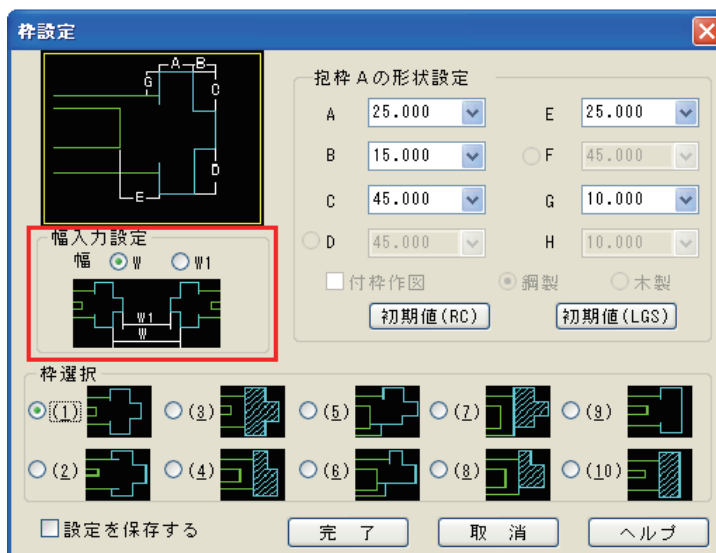


4 - 2

詳細扉

枠設定に幅入力の設定を追加しました。

[ 建築 / 建具 / 詳細扉 ]



## 4 - 3

## スタッド

単独配置の際に連続して記号作図が可能になりました。

[ 建築 / 記号・定型 / スタッド ]

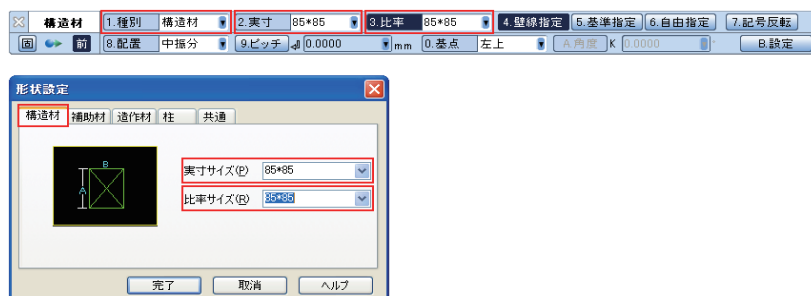
構造材コマンドの配置機能と同様に単独配置の際に連続して記号作図が可能になりました。

## 4 - 4

## 構造材

CSB の実寸サイズ、比較サイズと設定のそれとを連動、及び各種構造材の実寸サイズ、比率サイズを保持するよう変更しました。

[ 建築 / 記号・定型 / 構造材 ]

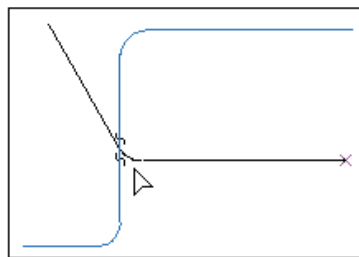
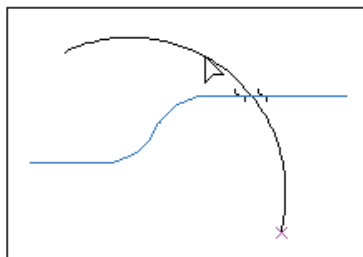


## 5 - 1

## 渡り配線 / 連続配線

切断配線の「新規」において、円弧部分の切断が可能になりました。

[ 電設 / 配線作図 / 渡り配線・連続配線 ]



## 5 - 2

## 条数記号

「移動」「複写」「変更」「削除」時に、配線を指定することで条数記号がGETできるようになりました。

[ 電設 / 配線作図 / 条数記号 ]

「移動」「複写」「変更」「削除」時に、配線を指定することで直近の条数記号GETします。

## 5 - 3

## 立上記号

対象となるコマンドで [S. 隠線] [配管点] ボタンがオンの場合に、立上記号にある円の形状の中心を配管点とするよう変更しました。

[ 電設 / 配線作図 / 立上記号 ]

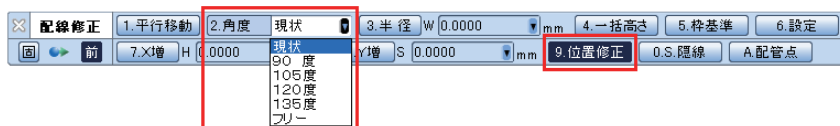
対象となるコマンドで [S. 隠線] [配管点] ボタンがオンの場合に、立上記号にある円の形状の中心を配管点とするよう変更しました。これにより、円の形状にマウスを近づけることで配線が円の中心に吸着します。対象となるコマンドは、「渡り配線」「連続配線」「省略配線」「レースウェイ」「配線修正」「フロアダクト」です。

## 5 - 4

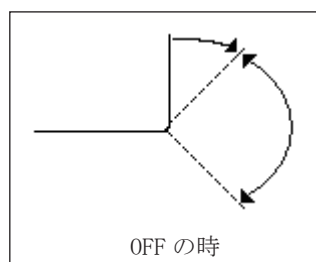
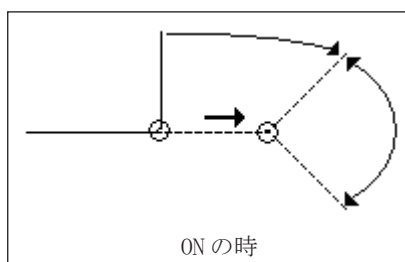
## 配線修正

配線修正コマンドに連続配線コマンドの位置修正機能を追加しました。

[ 電設 / 配線編集 / 配線修正 ]



位置修正の ON/OFF の切替と角度の変更が出来るようになりました。



ON の時は、選択された配線の位置と角度が修正可能です。

OFF の時は、角度のみ修正可能です。

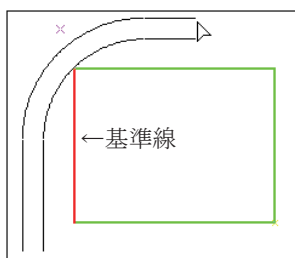
## 5 - 5

## 電線管及び電線管編集

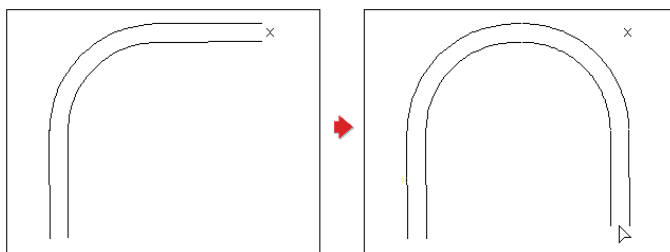
コマンドに以下の機能を追加しました。

[ 電設 / 記号・定型 / 電線管・電線管編集 ]

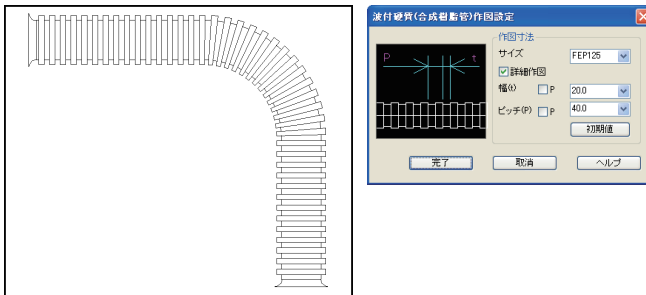
- ・基準線モード時に基準線指定後の作図開始点を任意に指定できるようになりました。



- ・「連続配線」コマンドと同様の、「始点連続」「位置修正」の機能を追加しました。



- ・波付硬質管の作図機能を追加しました。これに伴い、「電線管編集」コマンドにベルマウス作図・ベルマウス削除の機能を追加しました。





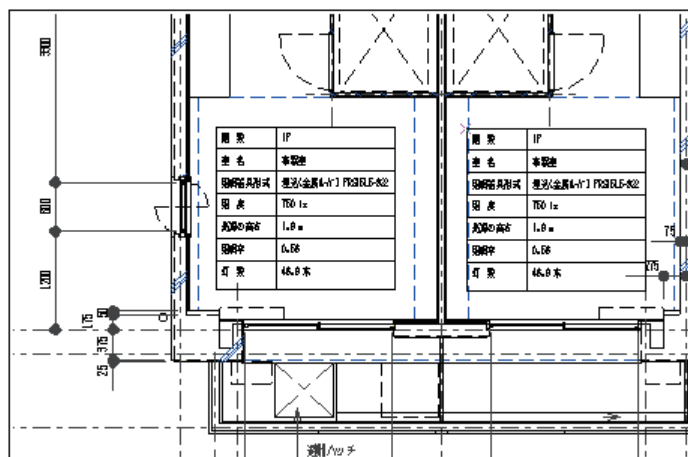
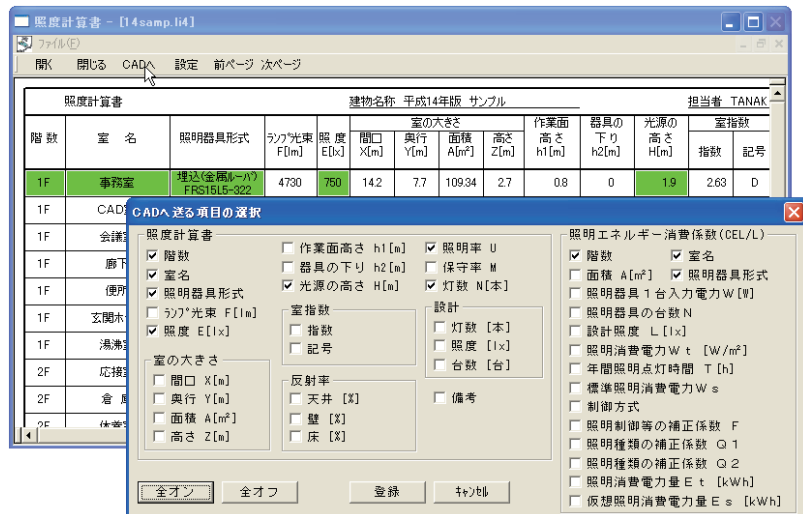
5 - 6

照度情報配置

照度計算の結果から CAD 上に計算表を配置するコマンドを追加しました。

[ 電設 / 電設補助 / 照度情報配置 ]

開くことのできるファイルは 14 年度版照度計算書 (\*.li4) のみとなります。



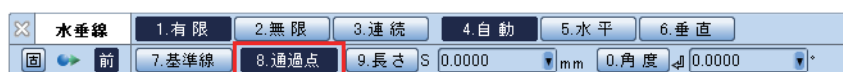
## 6-1

## 水垂線

CSBの「8. 通過点」ボタンがONの時、通過点を指定して作図できるよう変更しました。

[ 作図 / 直線 / 水垂線 ]

CSBの「8. 通過点」ボタンがONの時、通過点を指定して作図できるようになりました。通過点モードでは、作成する線分が通過する参照直線が表示され、その参照直線上の点を指定することにより、水平 / 垂直線分の始点・終点を確定することができます。

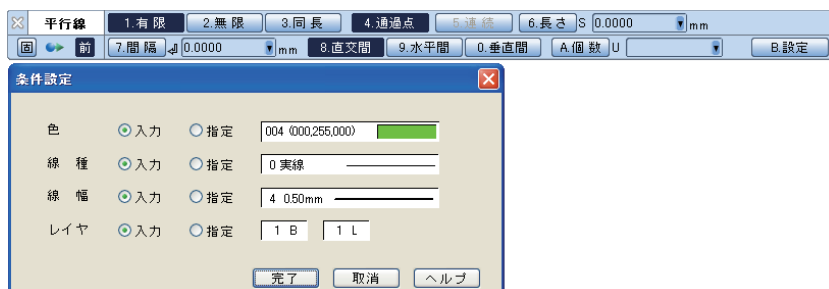


## 6-2

## 平行線

平行線コマンドのCSBに [B. 設定] ボタンを追加し、線種や線色等を指定できるようになりました。

[ 作図 / 直線 / 平行線 ]



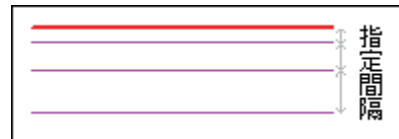
## 6 - 3

## 平行線 2

指定した間隔で複数の平行線を一括で作図できるようになりました。

[ 作図 / 直線 / 平行線 2 ]

指定した間隔で複数の平行線を一括で作図できるようになりました。間隔入力ダイアログボックスにカンマ区切りで数値を入力すると、指定された間隔の本数分の平行線を作図します。



## 6 - 4

## 複線

CSB を新スタイルに変更しました。

[ 作図 / 定型 / 複線 ]

「6. Z レベル」を変更した際、もしくはブルボックスを左クリックし色選択 DLB から色を選択すると、「4. 塗潰し」が ON になります。

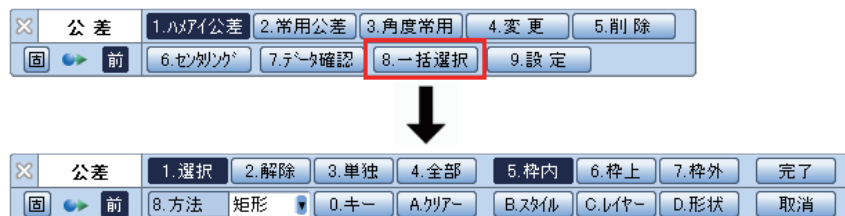


## 6-5

## 公差

CSBに「8.一括選択」ボタンを追加し、枠で囲った範囲内全ての寸法値に対して公差を作図することができます。

[作図 / 寸法 / 公差]



## 6-6

## ハメアイ記号

ハメアイ交差選択ダイアログボックスを、一目で全ハメアイ交差が見えるように改良しました。

[作図 / 寸法 / 公差]

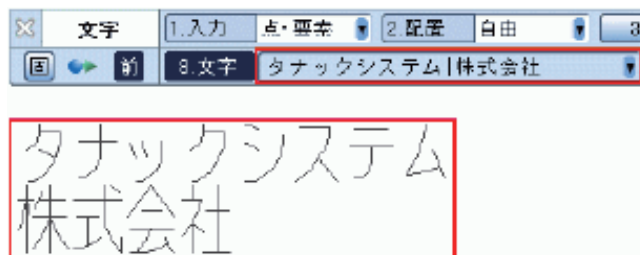


6-7

## 文字

[ | ] ( 半角パイプ・・・[Shift] + [¥] ) 区切りで文字列を指定することで複数段文字列が作図できるようになりました。

[ 作図 / 文字記入 / 文字 ]



## 6 - 8

## 注釈

コマンド名を変更しました。

「2. 中心点」ボタンが ON の時、角度指定ができるよう変更しました。

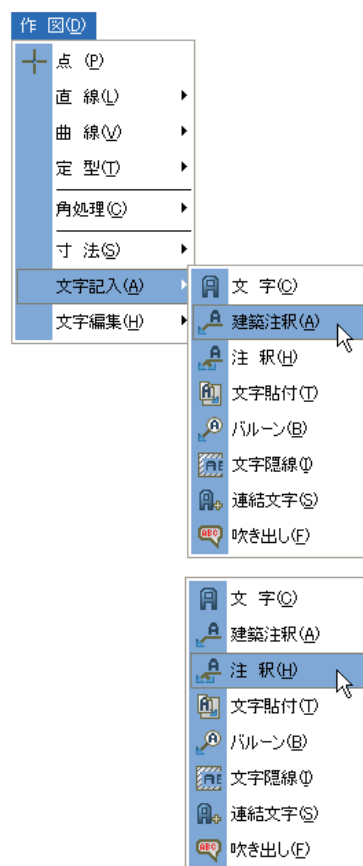
[ 作図 / 文字記入 / 注釈 ]

・[ 注釈 1 ] は [ 建築注釈 ] に、[ 注釈 2 ] は [ 注釈 ] にコマンド名を変更しました。

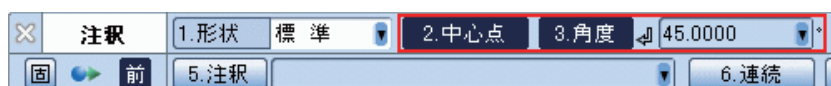
【Ver. 11】



【Ver. 11.5】



・「2. 中心点」ボタンが ON の時に角度の指定ができるようになりました。引出し線も「自由」の他に「垂直」「水平」が選択可能となりました。

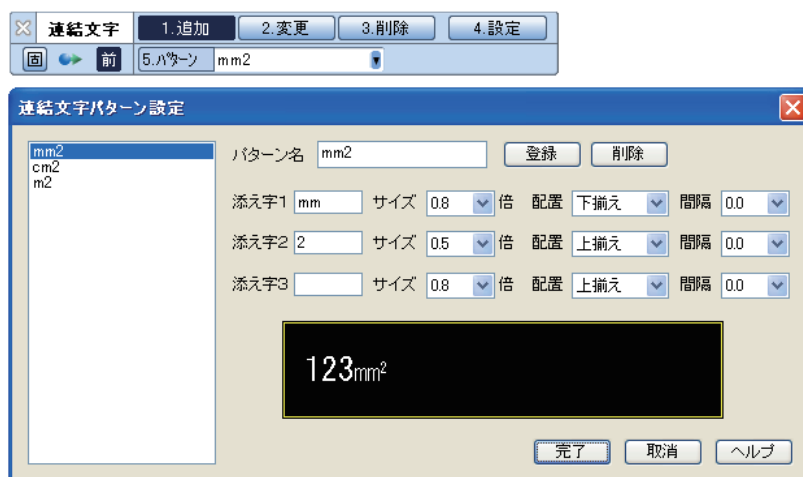


6-9

## 連結文字

指定した文字列に対し、登録した「m3」などの別の文字列を呼び出し連結する新機能を追加しました。

[ 作図 / 文字記入 / 連結文字 ]

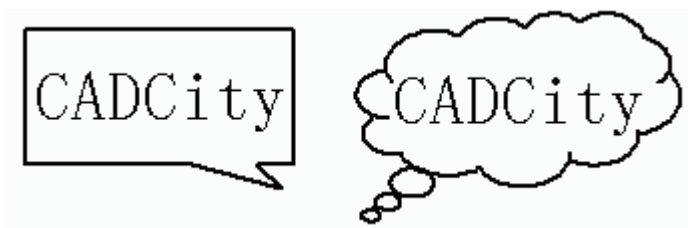


6-10

## 吹き出し

四角、角丸四角、円、楕円、雲形の吹き出しを作図する新機能を追加しました。

[ 作図 / 文字記入 / 吹き出し ]

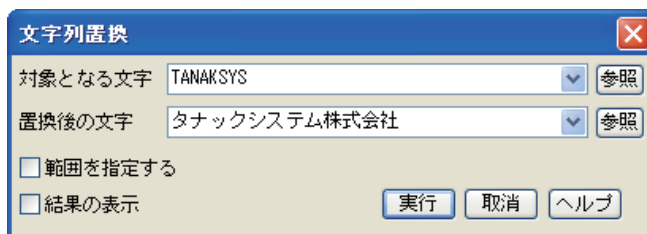


6-11

## 文字列編集

文字列置換ダイアログボックスに前回入力した文字列を保持するよう変更しました。

[ 作図 / 文字編集 / 文字列 ]



6-12

## 文字飾り

文字 BOX にて入力された文字列にも文字飾りをつけられるよう変更しました。

[ 作図 / 文字編集 / 文字飾り ]



## 6-13

## 文字伸縮

文字伸縮に機能を追加しました。

[ 作図 / 文字編集 / 文字伸縮 ]

文字伸縮実行時に必ず文字列編集のダイアログボックスが表示されていましたが、[3. 設定] で表示オンオフを指定できるようにしました。



CSB に [3. 設定] [4. 伸縮] [5. 均等] [6. マージン] が追加されました。



[3. 設定]

均等配置の複写時のレイヤー設定、マージン値の設定、文字列編集のダイアログ表示の可否の決定を行います。

[4. 伸縮]

文字の伸縮を行います。

[5. 均等]

文字の伸縮はせず、文字間隔のみで配置を調整するモードです。文字高と縦横比は変更しません。

[6. マージン]

文字の開始部分と終了部分に設定されたマージン分の余白を付ける機能です。

[5. 均等]

ボタンがオフの場合に有効です。

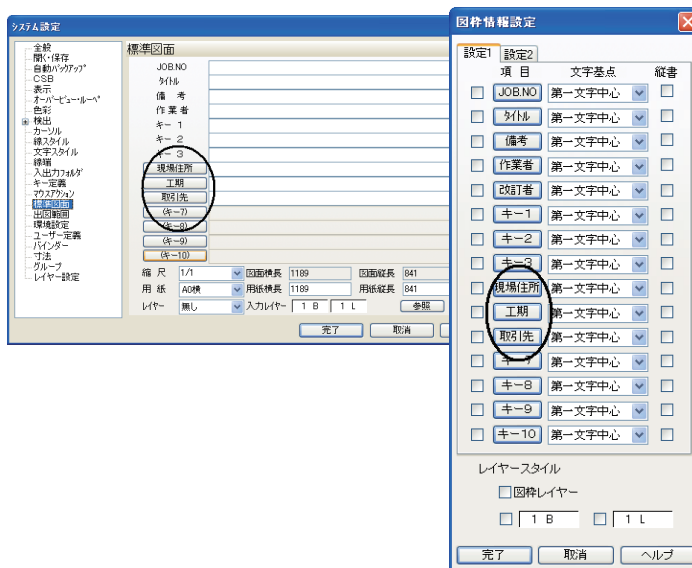
## 7-1

## 図枠情報設定

「システム設定 / 標準図面」にてキー 4～キー 10 に属性項目を設定した場合、図枠情報設定の項目ボタンに反映させるよう変更しました。

[ 補助 / 図枠 / 図枠情報設定 ]

「システム設定 / 標準図面」にてキー 4～キー 10 に設定した属性項目の名称が、図枠情報設定の項目ボタン(キー 4～キー 10)に反映されるようになりました。

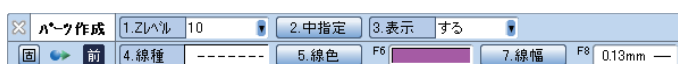


## 7-2

## 隠線パーツ作成・変更

「設定」ダイアログボックスにあった表示要素設定をCSBのボタンに配置し、CSBの「設定」ボタンを削除しました。

[ 補助 / 隠線パーツ / パーツ作成 ]



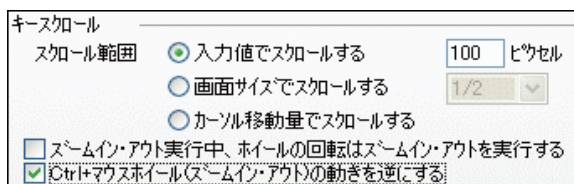
## 7-3

## システム設定 / 表示

Ctrl + マウスホイール（ズームイン・アウト）の動きを逆に設定できるようになりました。

[ 補助 / システム設定 / 表示 ]

チェックオンの時、ホイールを奥に回すとズームイン、手前に回すとズームアウトの操作になります。



## 7-4

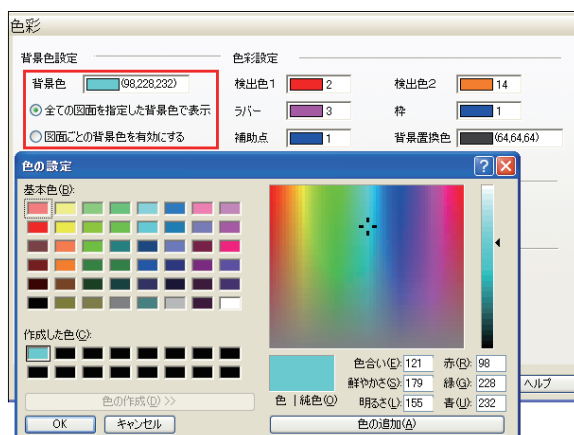
## システム設定 / 色彩

画面背景色に白黒以外の色の指定が可能になりました。

[ 補助 / システム設定 / 色彩 ]

カラーサンプルの部分をクリックするとカラー選択のダイアログボックスが表示されますので、任意の色を選択します。

「図面ごとの背景色を有効にする」を有効にすると、図面だけの背景色を変更できます。設定された背景色は、図面のデータベースに保存され、次回起動時にも有効となります。「すべての図面を指定した背景色で表示」で変更されますが、チェックを「図面ごとの背景色を有効にする」と、固有の背景色で表示します。

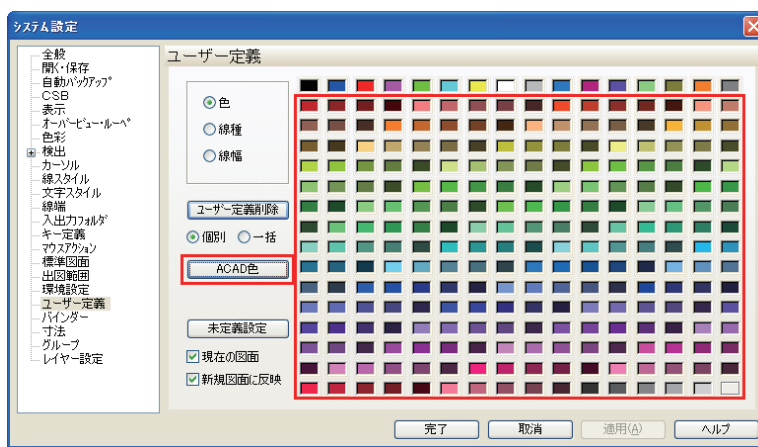


## 7-5

## システム設定 / ユーザー定義

AutoCAD で定義される 256 色の色リストをボタン一つでユーザー定義色として設定できるようになりました。

[ 補助 / システム設定 / ユーザー定義 ]



## 7-6

## システム設定 / 寸法

寸法を作成する際に要素の端交点を指定する場合、ハッチング要素を検出対象にするかどうかを設定できるようになりました。

[ 補助 / システム設定 / 寸法 ]



## 8 - 1

## 外部データ貼付

外部データ貼付の機能を改良しました。

[ オプション / 外部データ貼付 ]

従来のデータ貼付は一つの要素を貼り付ける毎にコマンドが終了していましたが、Ver. 11.5 よりデータを貼り付けてもコマンドが終了しないようになりました。

配置点指定中にマウス右クリックで範囲指定ダイアログボックスが開きます。貼り付けるページの指定や画像の貼り付け範囲を再度指定することができます。